

## II - 5 強度行動障害 (Severe behavioral disorders)

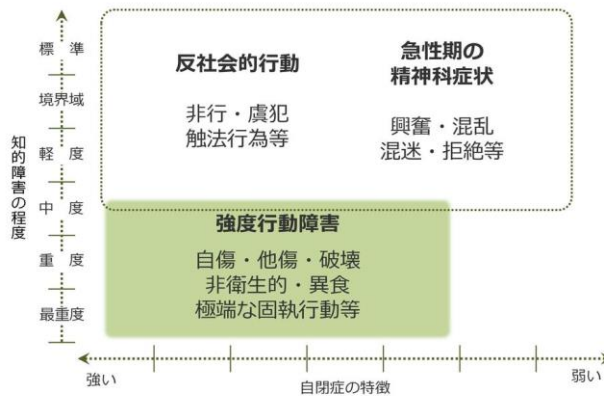
### 1 : 強度行動障害とは

#### 強度行動障害とは

- 1 : 自分の体を叩いたり食べられないものを口に入れる、危険につながる飛び出しなど、本人の健康を損ねる行動。
- 2 : 他人を叩いたり物を壊す、大泣きが何時間も続くなど、周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動。

上記の2つの行動が著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態。

### 強度行動障害になりやすいのは



### 2 : 強度行動障害の判定指針

表 1-12 強度行動障害判定指針；強度行動障害の目安と内容例（厚生労働省保健福祉部障害福祉課）

行動障害の内容	行動障害の目安の例示
1 ひどい自傷	肉が見えたり、頭部が変形に至るような叩きをしたり、つめをはくなど。
2 強い他傷	噛みつき、蹴り、なぐり、髪ひき、頭突きなど、相手が怪我をしかねないような行動など。
3 激しいこだわり	強く指示しても、どうしても服を脱ぐとか、どうしても外出を拒みとおす、何百メートルも離れた場所に戻り取りに行く、などの行為で止めても止めきれないもの。
4 激しいもの壊し	ガラス、家具、ドア、茶碗、椅子、眼鏡などを壊し、その結果危害が本人にも周囲にも大きいもの、服を何としてでも破ってしまうなど。
5 睡眠の大きな乱れ	昼夜が逆転してしまっている、ベッドについていられず人や物に危害を加えるなど。
6 食事関係の強い障害	テーブルごとひっくり返す、食器ごと投げたり、椅子に座っていられず、皆と一緒に食事できない、便や釘・石などを食べ体に異常をきたしたことがある異食、特定のものしか食べず体に異常をきたした偏食など。
7 排泄関係の強い障害	便を手でこねたり、便を投げたり、便を壁面になすりつける、強迫的に排尿排便行動を繰り返すなど。
8 著しい多動	身体・生命の危険につながる飛びだしをする。目を離すと一時も座れず走り回る。ベランダの上など高く危険な所に上る。
9 著しい騒がしさ	たえられないような大声を出す。一度泣き始めると大泣きが何時間も続く。
10 パニックがもたらす結果が 大変なため処遇困難な状態	一度パニックが出ると、体力的にもとてもおさまられずつきあっていかれない状態を呈する。
11 粗暴で相手に恐怖感を与える ため処遇困難な状態	日常生活のちょっとしたことを注意しても、爆発的な行動を呈し、関わっている側が恐怖を感じさせられるような状況がある。

### 3：強度行動障害判定基準

表 1-13 強度行動障害判定基準表（厚生労働省保健福祉部障害福祉課）

行動障害の内容	1点	3点	5点
1 ひどい自傷	週に1, 2回	1日に1, 2回	1日中
2 強い他傷	月に1, 2回	週に1, 2回	1日に何度も
3 激しいこだわり	週に1, 2回	1日に1, 2回	1日に何度も
4 激しいもの壊し	月に1, 2回	週に1, 2回	1日に何度も
5 睡眠の大きな乱れ	月に1, 2回	週に1, 2回	ほぼ毎日
6 食事関係の強い障害	週に1, 2回	ほぼ毎日	ほぼ毎食
7 排泄関係の強い障害	月に1, 2回	週に1, 2回	ほぼ毎日
8 著しい多動	月に1, 2回	週に1, 2回	ほぼ毎日
9 著しい騒がしさ	ほぼ毎日	1日中	絶え間なく
10 パニックがひどく指導困難			あれば
11 粗暴で恐怖感を与え、指導困難			あれば

※上記基準によってチェックした結果、家庭にあって通常の育て方をし、かなりの養育努力があっても、過去半年以上さまたげな強度の行動障害が継続している場合、10点以上を強度行動障害とし、本事業対象としては20点以上とする。

### 4：強度行動障害のある人の臨床的特徴

- ① 青年・成人期の自閉スペクトラム症者に多いこと。
- ② 青年期に急激退行を示す Down(ダウン) 症候群に顕著な行動障害がみられること
- ③ 強度行動障害と判定される対象者に注意欠如多動性障害と診断される事例が多いこと

#### 補足：自閉スペクトラム症における強度行動障害（知的能力障害と特性の強さ）

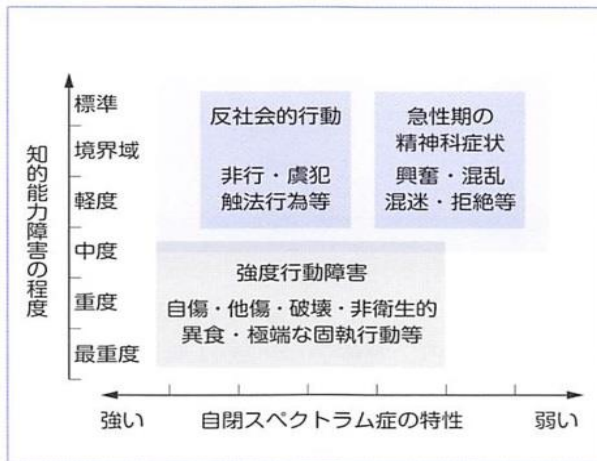


図 1-7 自閉スペクトラム症における強度行動障害（知的能力障害と特性の強さ）（発達障害情報・支援センター 基礎テキストより）

### 5：強度行動障害と歯科医療

#### 歯科治療上の問題点

歯みがきをさせない、口をあけない、歯みがき習慣が定着しない、暴れるため通院できない、抑制できない、など。

#### 治療・説明の際の注意点

治療だけでなくう蝕予防処置、歯周疾患の予防処置も困難で、その効果も上がりにくいことが多い